

6 住宅・土地所有の概況

世帯の現住居所有率は63%

普通世帯における住宅と土地の所有状況をみると、住宅を所有する世帯が445,000世帯、土地を所有する世帯が422,000世帯で、それぞれ普通世帯の64.1%、60.8%となっている。

住宅を所有する世帯のうち、現住居を所有する世帯が437,000世帯、現住居以外の住居を所有するのが52,000世帯で、それぞれ普通世帯の63.0%、7.5%となっている。

また、土地を所有する世帯のうち、現住居の敷地を所有する世帯は408,000世帯、現住居の敷地以外の土地を所有する世帯は178,000世帯で、それぞれ普通世帯の58.8%、25.6%となっている。

住宅を所有する世帯の割合について平成15年と比較すると、平成15年66.8%、平成20年64.1%となっており、2.7ポイント低くなっている。

また、土地を所有する世帯の割合について平成15年と比較すると、平成15年62.3%、平成20年60.8%となっており、1.5ポイント低くなっている。

<図36, 図37, 表28>

図36 住宅を所有する世帯の割合

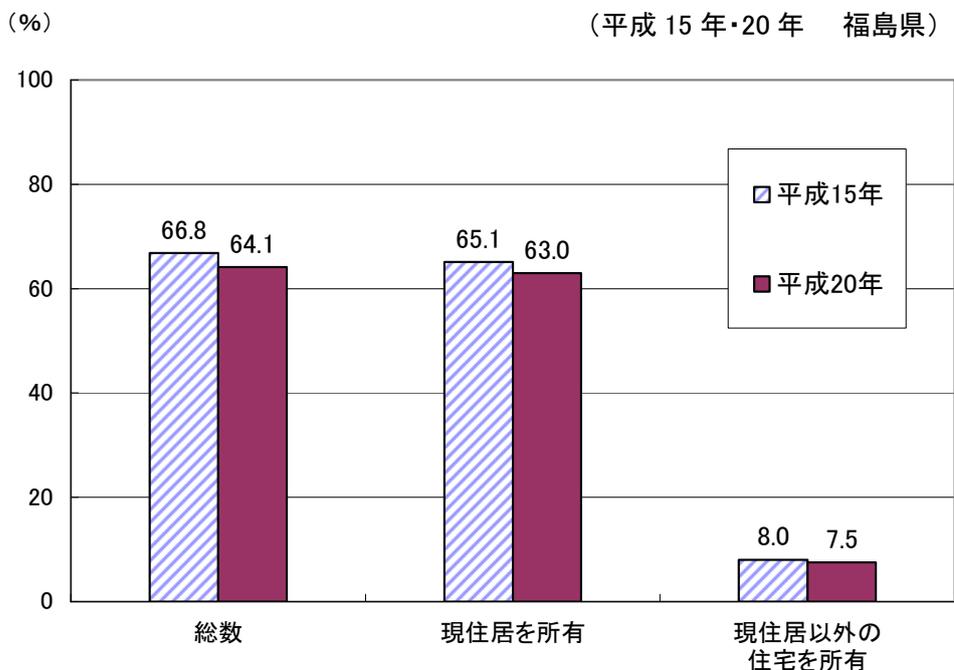
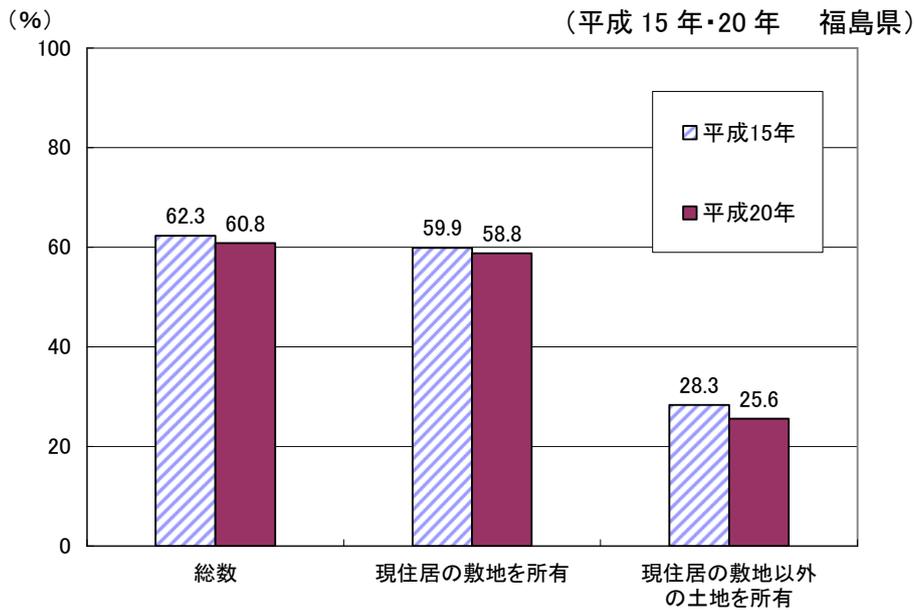


図 37 土地を所有する世帯の割合



年収の高い世帯で住宅と土地の所有率が高い

世帯の年間収入階級別に住宅・土地の所有率をみると、基本的に年間収入階級が高くなるに従い所有率が上昇している。現住居以外の住宅及び現住居の敷地以外の土地についてみると、「300万円未満」の収入階級の世帯では、所有率がそれぞれ4.5%、20.7%となっているが、「500～700万円」の収入階級の世帯では、それぞれ7.5%、25.8%、「1,500万円以上」の収入階級の世帯では、それぞれ28.6%、71.4%となっている。

<表 28>

表 28 世帯の年間収入階級、住宅・土地の所有状況別 普通世帯数<乙> (平成 20 年 福島県)

	世帯総数	住宅を所有している世帯			土地を所有している世帯			いずれも所有していない
		総数	現住居を所有している	現住居以外の住宅を所有している	総数	現住居の敷地を所有している	現住居の敷地以外の土地を所有している	
総数	694,000	445,000	437,000	52,000	422,000	408,000	178,000	210,000
300万円未満	242,000	130,000	129,000	11,000	124,000	120,000	50,000	105,000
300～500	183,000	117,000	116,000	13,000	112,000	108,000	47,000	57,000
500～700	120,000	86,000	84,000	9,000	81,000	79,000	31,000	29,000
700～1,000	91,000	77,000	75,000	12,000	74,000	71,000	34,000	10,000
1,000～1,500	31,000	28,000	27,000	4,000	25,000	24,000	13,000	2,000
1,500万円以上	7,000	6,000	6,000	2,000	6,000	6,000	5,000	0
割合 (%)								
総数	100.0	64.1	63.0	7.5	60.8	58.8	25.6	30.3
300万円未満	100.0	53.7	53.3	4.5	51.2	49.6	20.7	43.4
300～500	100.0	63.9	63.4	7.1	61.2	59.0	25.7	31.1
500～700	100.0	71.7	70.0	7.5	67.5	65.8	25.8	24.2
700～1,000	100.0	84.6	82.4	13.2	81.3	78.0	37.4	11.0
1,000～1,500	100.0	90.3	87.1	12.9	80.6	77.4	41.9	6.5
1,500万円以上	100.0	85.7	85.7	28.6	85.7	85.7	71.4	0.0

(注) 内訳に重複があるため、総数とその内訳は一致しない。また、乙調査票による集計のため、標本数の違いにより総数が他の統計表と一致しない。